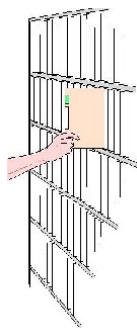


クリニック様紙カルテファイリング事例

◆導入前の課題

- 膨大な紙カルテを保管しており、カルテ庫の保管スペースが手狭になってきている。
- 電子カルテを導入していても、各種検査所見や紹介状、手術や麻酔記録、同意書、入院計画書など院内で発生する大量の紙文書で、ペーパーレス化には程遠い。
- 職員の中にはPCの操作に不慣れな人も多いため、操作が複雑だと職員の採用にも支障を来す。



患者の増加と共に保管スペースが増加してカルテ庫を圧迫



◆対策

- カルテを電子化して、カルテ庫での保管を無くす。
- 閲覧は、患者ごとのバインダを選択して閲覧
- 氏名、生年月日、保険証番号などで検索できるため、すぐに患者のカルテフォルダーを閲覧できる。

患者数:22,000人

診療科目:

内科 胃腸科 循環器科
小児科 リハビリ科

電位カルテの患者マスター



22,000人分の患者バインダを児童作成

紙の書類を扱うのと同じ感覚でばらばらめくって閲覧

